

2024年度 自己点検・自己評価

本学院は、日本語教育機関の告示基準に基づき教育水準の維持、及び教育力向上のため、自己点検・自己評価を毎年、年度末に行うものとする。

評価方法は

A:達成されている B：ほぼ達成されている C：達成に向けて努力している

D：達成されていない/必要性に気づいていなかった X：該当しない

の5段階で評価する。また、自己点検・自己評価は本学院のホームページにて公表する。

1. 教育理念・目標	評価
1.1 教育理念、目的、目標、育成する人物像が明確になっているか。	A
1.2 教育理念、目的、目標、育成する人物像が社会のニーズに合致しているか。	B
1.3 教育の理念が教職員だけではなく学生にも共有されているか。	A

【現状・具体的な取り組み・課題】

教育理念・目的について教職員で確認をしている。

また、学生募集やオリエンテーション等でわが校の理念・目的・目標について周知を図っている。

2.学校運営

2.1 日本語教育機関の告示基準に適合しているか。	A
2.2 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	A
2.3 運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか。	A
2.4 人事・給与に関する規定等は整備されているか。	B
2.5 校長・教員・事務員が目標達成に必要な能力・資質を有しているか。	A
2.6 受け入れる学生の母語に対応できる組織となっているか。	A
2.7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
2.8 危機管理体制は整備されているか。	A

【現状・具体的な取り組み・課題】

今年度は学生が一気に増えたため母語の対応ができる職員を増員し、学生のサポート体制の強化をした。

3. 教育活動

3.1 理念・教育目標に合致したコースを制定を行っているか。	A
3.2 カリキュラムを体系的に編成しているか。	A
3.3 レベル設定において国内または国際的に認知されている熟達度枠組みを参考にしているか。	A
3.4 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしているか。	A
3.5 プレースメントテストで入学者の日本語能力を判定し、適切なクラス編成を行っているか。	B
3.6 教員に対して担当するクラスの学生の学習目的、クラス編成試験の結果、学習歴等、指導に必要な情報を伝えているか。	A
3.7 成績評価、卒業判定の基準は明確になっているか。	A

- | | | |
|------|--------------------------------------|---|
| 3.8 | 出席及び授業記録等を備え、実施した授業を正確に記録しているか。 | A |
| 3.9 | 入学から修了・卒業までの学習成績の記録を保管し、適正に管理しているか。 | A |
| 3.10 | 理解度・到達度の測定、評価を適切に行い、その結果を学生に周知しているか。 | A |
| 3.11 | 授業に必要な機材等が十分に揃っているか。 | A |
| 3.12 | 補助教材、生教材を使用する場合は著作権法に留意しているか。 | A |
| 3.13 | 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。 | A |
| 3.14 | 卒業後の進路を把握しているか。 | A |

【現状・具体的な取り組み・課題】

学生への学習成績、出席率等への周知を紙ベースで行ってきたが、学生の増加に伴い、今後デジタルベースによる方法を検討する。

4. 学生支援と生活指導

- | | | |
|------|----------------------------------|---|
| 4.1 | 入学後直後のオリエンテーションは実施しているか | A |
| 4.2 | 国民健康保険等の加入指導及び支援を行っているか。 | A |
| 4.3 | 生活に関するオリエンテーションは実施しているか。 | A |
| 4.4 | 休日及び長期休暇の対応はできているか。 | B |
| 4.5 | 学生寮、および学生の生活環境の支援を行っているか。 | A |
| 4.6 | アルバイトの指導及び支援を行っているか。 | A |
| 4.7 | 学生の心身の健康管理・事故・怪我等のサポート体制が整っているか。 | B |
| 4.8 | 進学、就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。 | A |
| 4.9 | 常に最新の学生の情報を把握しているか | A |
| 4.10 | 入国・在留関係管理・指導を適切に行っているか。 | A |

【現状・具体的な取り組み・課題】

生活指導等の職員の増加により、学生の病気や怪我の時のサポートがよりきめこまかくできるようになった。

学生寮を増やしたが、分散しているため寮での生活面での管理が手薄にならないように努めることが必要である。

5. 教育環境

- | | | |
|-----|---|---|
| 5.1 | 教室その他の施設は、「日本語教育機関の告示基準」に適合しているか。 | A |
| 5.2 | 教室内は十分な照度があり換気がなされ、また、語学教育に必要な遮音がなされているか。 | A |
| 5.3 | 授業時間外に自習できる部屋の確保ができているか。 | A |
| 5.4 | 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され常備利用可能であるか。 | A |
| 5.5 | 視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備しているか。 | A |
| 5.6 | 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保しているか。 | A |
| 5.7 | バリアフリー対策を施しているか。 | A |
| 5.8 | 同時に授業を受ける学生数に応じたトイレが整備されているか。 | A |

【現状・具体的な取り組み・課題】

職員の増加により、教務室を移動した。視覚教材やITを利用したより授業の充実を図っていく必要がある。

6. 学生募集と受け入れ	
6.1 学生の受け入れ方針を定め、年間募集計画、募集定員を定めているか。	A
6.2 最新かつ正確な学校情報を入学志願者及びその経費支弁者に正確に伝えているか。	A
6.3 求める学生像を明示している。	A
6.4 海外の募集代理人（エージェント等）に最新かつ正確な情報提供を行っているか。	A
6.5 海外の募集代理人（エージェント等）が行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか。	A
6.6 入学者の選考に関し、適切かつ公平な基準に基づいて行っているか。	A
6.7 入学者の選考に当たっては、学校関係者が面接等を行うよう努めているか。	A

【現状・具体的な取り組み・課題】

本年度の卒業生の進路は進学者21名、就職者2名、帰国者 3 名となった。

7. 財務	
7.1 財務状況は中長期的に安定している。	A
7.2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	A
7.3 適正な会計監査が行われている。	A

【現状・具体的な取り組み・課題】

毎月、税理士法人による監査を実施。学習環境を整えるための財務管理、予算を確保している。

8. 安全・危機管理	
8.1 健康、衛生面について指導する体制を整えているか。	B
8.2 対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか。	A
8.3 重篤な疾病や障害及び交通事故にあった場合の対応を定めているか。	A
8.4 感染症発生時の措置を定めているか。	A
8.5 気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法を定め、教職員及び学生に周知しているか。	A

【現状・具体的な取り組み・課題】

全学生が国民健康保険と、民間の保険に加入している。

9. 法令の遵守等

9.1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。

A

9.2 教職員の個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。

A

9.3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。

A

9.4 自己点検・自己評価結果を公開しているか。

A

9.5 入国管理局、関係官庁等への届け出、報告を遅滞なく行っているか。

A

【現状・具体的な取り組み・課題】

法令、設置基準等の遵守し、定期報告や自己点検もおこなっている。

- 10.地域貢献・社会貢献

10.1 学校の教育資源や施設を活用した地域貢献・社会貢献をおこなっているか。

B

10.2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。

C

【現状・具体的な取り組み・課題】

地域行事の夏祭りに学校として参加でき学生と地域の人たちの交流ができた。日本の地域に伝わる文化に直接触れることができ、今後も継続して、地域行事に参加していきたい。

2024年度 課程修了者状況

- ・現在の定員数：100名（4月生…60名、10月生…40名）
- ・2024年度卒業生数：26名（内、N1合格者 4名、N3合格者 6名、）
- ・進学先 大学院 1名 大学 1名 専門学校 19名